



# 赤岩地区養蚕農家群

養蚕



指定名称  
六合赤岩重要伝統的  
建造物群保存地区

所在地  
中之条町大字赤岩

指定面積  
63ha

所有  
個人

## 概要

あかいわ 赤岩地区は中之条町の南西部、しらすな 白砂川が湾曲して形成された河岸段丘と山の境の傾斜地にあります。地区の中を南北に走る赤岩本道沿いに集落が形成され、集落の背後（東側）には山々が連なり、崖が切り立った独特の山村風景をつくりだしています。



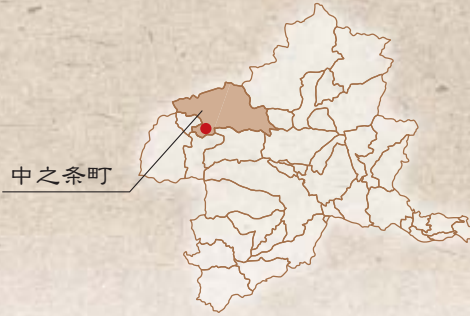
赤岩地区は平成18年（2006）7月、群馬県内では初めて重要伝統的建造物群保存地区に国から選定されました。屋敷を形成する建物群は、明治から大正、昭和初期を中心に建てられた近代養蚕農家ですが、屋敷や農地の利用形態、宗教施設や墓地の配置など、集落の骨格としては江戸時代以来の歴史をそのまま伝えています。

養蚕農家の特徴には「出梁（デバリ）」、「セガイ」という構造があります。デバリは、1階と2階の境に外壁より外側に梁はりを出して、その上に通路や手すりを設置出来るようにし、セガイは屋根の軒の部分に梁けたを出して、桁を支えて軒先を広くする構造です。これらは養蚕や農作業のため、なるべく柱を設けず広い空間を確保するために工夫された工法です。

赤岩での養蚕の開始時期は明らかではありませんが、幕末にはすでに行われていました。明治初頭には前橋に繭が出荷され、それまでの林業や麻の生産から、養蚕が主要な産業となりました。明治後期になると高山社たかやましやからの養蚕指導の授業員派遣を受け、大正6年（1917）には赤岩出身の高山社卒業生が近代的な養蚕業の指導にあたりました。

時代ごとの生活や生業せいぎょうに合わせた増改築を行いつつも、伝統的な建物を使い続けてきた赤岩の養蚕農家群は、山間部にあっても明治時代から昭和前期において養蚕業が発展し、養蚕専用の大型民家を建築できる収入をもたらしたことを示す重要な文化財であり、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つとして、世界遺産登録を目指しています。

# 見学の ご案内



# 赤岩地区養蚕農家群



## ■行き方

### ○公共交通機関を御利用の場合

- ・ JR吾妻線で長野原草津口駅下車 村営バスで「南大橋」バス停下車、徒歩5分。

### ○自動車を御利用の場合

- ・ 関越自動車道渋川伊香保ICより国道17号を沼田方面へ→国道353号を中之条方面へ→国道145号を長野原、草津方面へ→長野原町須川橋交差点を六合方面へ右折→案内所駐車場(無料)
- ・ 上信越自動車道碓氷軽井沢ICより軽井沢駅方面へ→国道18号旧道の中軽井沢方面へ→国道146号を長野原方面へ→長野原町須川橋交差点を六合村方面へ左折→案内所駐車場(無料)

## ■見学をする上での注意点

- ・ 赤岩本道は道幅が狭いため、見学の際には車に御注意ください。またお車の場合は駐車場を御利用下さい。
- ・ 古い養蚕農家がたくさんありますが、個人住宅のため、敷地内への立ち入りは御遠慮下さい。
- ・ ガイド付き見学(有料)は予約が必要です。詳しくは、下記問い合わせ先に御連絡下さい。

## ■関連する見学地

- ・ 中之条町歴史民俗資料館 (TEL.0279-75-1922)

## 問い合わせ先

中之条町教育委員会 TEL.0279-95-3013

赤岩ふれあいの家 TEL.0279-95-3008

群馬県